

単元名 【旧】ざいりょうから ひらめき(絵)

配当時間 5時間

単元の目標 (1) 材料の感じを生かし、組み合わせたり加工したりして表し方を工夫することができる。  
 (2) 材料の感じから、表したいことを考えることができる。  
 友達と作品を見せ合い、材料の使い方や表し方の面白さを感じ取るすることができる。  
 (3) 集めた材料を使って絵に表すことを楽しもうとする。

## 標準的な展開例

02080210\_001

【準備等】 身近材（ビーズ、ストロー、ボタン、包装紙、綿、布、リボン、毛糸、ひも、色紙など）色画用紙、共同絵の具、作品カード、クレヨン、パス、サインペン、はさみ、のり、木工用接着剤、化学接着剤

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 材料から受ける印象を話し合い、表したいことを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の参考作品は、材料が何に生かされているか発表する。（言語活動）           <ul style="list-style-type: none"> <li>毛糸でふわふわしたヤシの木</li> <li>綿でうさぎ</li> <li>青い包装紙の魚</li> </ul> </li> <li>★材料を組み合わせせて楽しい絵をかこう</li> <li>持ってきた材料を組み合わせながら、何に使えるか考える。</li> </ul> <p>2～5 材料を組み合わせ、思い描いた絵をかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使いたい材料を選ぶ。</li> <li>思い描いた形になるように、切ったり、ちぎったり、組み合わせたりしながら表す。</li> <li>画用紙に貼りながら、表したい内容をかき加える。</li> <li>作品カードを書き、友達と作品を見せ合う。           <ul style="list-style-type: none"> <li>作品の題</li> <li>表したかったこと</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 1・2下 P.14, 15</li> <li>事前に身近にある自然の材料を集めさせておく。</li> <li>児童の発言から、材料の特徴をどのように生かしているか気付かせる。</li> <li>材料を組み合わせ、思い付いた絵をかくことを知らせる。</li> <li>材料で足りないものを、次時まで集めさせる。</li> <li>【評】話し合いを通して、材料の感じから、表したいことを想像する「発想や構想の能力」を評価する。</li> <li>材料を触ったり並べたりしながら、使いたい材料を選ばせる。</li> <li>画用紙の上で、切ったりちぎったりした紙や材料を並べ、つくりたい形になるように組み合わせを工夫させる。</li> <li>【評】作品を通して、材料を組み合わせたりつなげたりしながら、表し方を工夫する「創造的な技能」を評価する。</li> <li>材料に合わせた接着方法を助言する。</li> <li>クレヨン・パスや絵の具などでかき加えさせる。</li> <li>作品カードを書かせ、鑑賞の参考にさせる。</li> <li>お互いの作品を見て、工夫したことやよさを話し合わせる。</li> <li>どのような材料を使っているか、触れてみることで、目と手で感触をとらえ、感じたことを話すように促す。</li> </ul>

【 備 考 】